

## 町田市議会議員・納税者主権

## 吉田つとむ

良識ある保守主義を目指す

町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野2-2-22

☎042-724-2171

保守連合会派室



保守連合会派所属議員

## 町田市の時差出勤とは

町田市では、全職員が対象の時差出勤が取り入れられました。時代に即応したものと思います。ただし、委員会で、上野議員や私には疑問点があったのでいくつか尋ねました。それは、昼の休憩時間は共通して1時間と取るというものでした。なぜか、休憩時間もずらさないと管理が難しいとの答えでした。さらに、遅めの出勤職員には別途、通常の残業時間に遭遇した際には、休憩時間を設定するというのです。本来は、昼の休憩時間を短縮して、後の休憩に充てると考えるのですが、何度聞いても話がかみ合いません。民間企業の発想とはかけ離れているように思いました。なお、市役所の開庁時間も従来そのままのことでした。



全国市議会議長会 都市行政問題会議の会議出席者の集合写真を参考使用

次いで、この時差出勤を導入すると、水道・光熱費はどれくらいかかるのかと尋ねました。不思議なことに、誰も計算したことが無いということでした。市役所庁舎内で働く人がいれば、電気をつけねばならないし、冷暖房なども必要で、その費用はどれくらいかかるか、「当然、費用の試算をするべきものだと思う」と意見を述べました。

## 政務活動費公開の進展

議会（議員）の政務活動費の使途が度々問題となっていますが、町田市議会は都内の議会で情報公開度 No.1 と見なされています。私は初当選以来、その公正な使い方やその公開を進める立場に身を置いてきましたが、さらに、議長と言うポジションで議会全体の合意を優先して、公開を一層前進させるという立場を取ってきました。

昨年度までに、町田市議会は全ての領収書を全面的にネット公開しています。さらに今回、会派が作成する政務活動費の使途に関する帳簿を統一した形式内容で公開（ネット公開を含む）することを定めた内容を議長案として議会運営委員会に諮り、その実施を全会一致で決定しました。平成 29 年(2017 年)度分からインターネット上にアップされることになり、領収書の公開と合わせて見る事ができるようになります。政務活動費の使途に関して、会派や議員の活動を「見える化」する目的で実施するもので、この双方を(ネット)公開する議会は全国の中でも先駆的取り組みと言えるでしょう。



珍しく、大勢の女性訪問者があった議長応接室。(参考写真)

## ★マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ (自宅)

## 町田市議会議員 議会報告

## 吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集

携帯QRコード  
でブログ閲覧

## 吹田市は市税を使わずサッカー場建設

会議出席で訪れた大阪府吹田市には、「市立吹田サッカースタジアム」があり、施設を案内していただきました。この施設の特徴は、サッカー専用競技場として設計されていること、さらに、その建設を民間のスタジアム建設募金団体が費用を含めて行ったこと、建設後の施設を吹田市に寄贈されたということが大きな特徴でしょう。ちなみに、その建設資金は総額 140 億 8567 万円でした。

町田市の場合は、当初の建設費と別に今回の増設費用(観客席 5 千席増設分約 60 億円)を市税でまかなおうとしており、この吹田市のやり方とは大きな違いが生じています。



この吹田市の施設の特徴では観客席が 4 万名、スタンドとピッチの距離が極めて近いこと、および観客席スタンドが全席屋根に覆われていることであるとの説明もいただきました。

また、J1 チームの「ガンバ大阪」のホームスタジアムとして利用されていることでも知られていますが、施設管理をその「ガンバ大阪」が引き受けていました。

## 関東私学バレーを観戦

町田市立総合体育館で開催された、第 25 回関東私立高等学校男女バレーボール選手権大会を観戦しました。

実際に見たのは、準決勝戦の一部、男女優勝戦、さらに表彰式を見せていただきました。なお、ここでは応援とは書いていませんが、その理由はこの試合が町田市立総合体育館で毎年開催されており、春休みの期間に開催されるその全国大会も含めて、こうした大規模な大会が町田市で開催されることを名誉と思い、声援するものです。この日の観戦は、公式な出席でなく、個人的に訪れたものでした。閉会式の会長挨拶にありましたが、「出場校は 128 校に上っており、ここで良い結果を出している学校はそれにふさわしい練習をし、プレーにも表れている」とのことでした。実際に、参加チームの試合は実にきびきびしたものでした。試合結果では、男子は優勝「東洋」、準優勝「日本航空」、3 位が「水戸啓明」と「東海大菅生」でした。女子は優勝「下北沢成徳」、準優勝「細田学園」の順、3 位が「文教学院大」と「土浦日大」でした。春の全国大会が楽しみです。



## ★「保守連合」会派は政党に所属していない無所属議員で構成

★ 現在、市議会議長に就任し、執務中。議会の本会議・委員会の傍聴を歓迎します。

Mail : yoshidaben@gmail.com mobile: yoshidaben@docomo.ne.jp (モバイルのみ接続)



町田市議会議員 議会報告

# 吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



携帯QRコード  
でブログ閲覧



様々の社会体験

## 研修レポート④宇都木彩名

今回は町田消防署を訪ねました。市民の安全や安心を守るために、どのような消防行政を行っているのを見学に行きました。消防の仕事内容としては救急、震災対策、火災予防、水災・土砂災害対策などがあります。どの業務も迅速的確な対応が必要なため、消防隊員皆さんは日々厳しい訓練に励んでおられました。



消防でのお仕事は主に男性が多いですが、もちろん女性も活躍しています。私が本日伺ったときも3名の女性の方とご挨拶ができました。署長にお話を聞いたところ、東京消防庁全体で、女性で署長に就任した方は、今までで4人（：最近では2人）もおられるそうです。他にも救急隊長や消防隊員として活動している女性もおられるとのことでした。消防署で働いている方達の中では、男女の区別という概念があまり無いそうです。そのため、女性だからといって訓練時の指導が緩くなることはありません。消防隊員なら、男性女性関係なく重い作業道具を持ち、熱い中で長時間の消火活動を行います。「人の命を背負っている」という責任がある消防署で働く人達の中で、性別による消防活動の差はないのです。また、消防職員として管理者や幹部

として働く仕事もあります。消防署の出動は24時間体制で、町田市の災害では特に火事が多いそうです。私たち市民の安全は、消防に携わる方々の働きがあるために存在するということをお話を聞いて学びました。



その後、はしご車に乗せていただくという貴重な体験もしました。町田消防署のはしご車は1台のみで、30mあります。はしご車に乗ってみると揺れが少なく、安全面において改良がされていることが分かりました。

見学を通して、町田市での災害の多さ、消防のお仕事の厳しさなど、新たに知ることができました。本日のように時間を設けて消防署を見学する機会はなかなか無いので、今日の体験を自分の中で有意義なものに繋げていきたいです。



津田塾大1年生 宇都木彩名(39期生)

★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施

★ 大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。

インターン希望の方、関心がある方は、ホームページの掲載要旨をご覧の上、ご連絡ください。